

ごあいさつ

**エネルギー事業者としての責務を果たすとともに、
さらなる発展・成長を目指します。**

アニュアルレポートをお届けするにあたり、ステークホルダーの皆さまにごあいさつを申し上げます。



初めに、2011年3月に発生した東日本大震災で被災された皆さまに、謹んでお見舞い申し上げます。被災地の一日も早い復興を心からお祈り申し上げます。

大阪ガスグループは、株主さま、お客さま、社会をはじめとする全てのステークホルダーから選ばれ続け、将来にわたって発展し続けることを目指した長期経営ビジョン・中期経営計画「Field of Dreams 2020」を掲げ、国内エネルギーサービス事業、海外エネルギーバリューチェーン事業、環境・非エネルギー事業の3つの事業を柱に、「グローバルなエネルギー・環境企業グループ」として力強く発展することを目指しています。

2011年3月期は、泉北天然ガス発電所を核とした、電力事業が収益の柱として育ったこと、家庭用燃料電池コージェネレーションシステム「エネファーム」の販売台数が順調に伸びたこと、神戸市さまの下水道バイオガスを都市ガス導管で受け入れる事業を開始したことをはじめ、スペイン・サグントLNG基地事業やアラブ首長国連邦・シュワイハットS2発電造水事業に参画したことなど、将来の成長に向けた取り組みを着実に進めることができました。

未曾有の被害をもたらしたこのたびの震災では、エネルギー分野においても、今後の政策を揺るがす事態が発生し、エネルギーセキュリティの重要性が、改めて認識されることになりました。このような中、供給安定性・環境性に優れた天然ガスの位置付けは、さらに高まっていくものと考えられます。

当社は、エネルギー事業者の責務として、防災対策や供給ネットワークの拡充に一層注力するとともに、長期契約・調達ソースの分散によるLNGの安定確保に努め、エネルギーの安定供給と保安の向上に努めます。さらに、ガスコージェネレーションシステムなどの分散型電源、ガス空調のご提案を通じて、環境負荷の低減と系統電力とのベストミックスの実現に努め、天然ガスの普及拡大・高度利用を進めます。

また、成長投資、新規事業拡大への取り組みを加速させ、将来の成長のための礎を築いていきます。

東日本大震災の発生だけにとどまらず、中東・北アフリカ諸国の政情不安など、経営を取り巻く政治・経済情勢はますます不透明感が高まっていますが、さまざまな課題に、柔軟かつ適切に対処しながら、国内外のフィールドで発展・成長を続け、株主さまをはじめとする全てのステークホルダーの価値の最大化を目指してまいります。

皆さまには、今後とも変わらぬご支援・ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

尾崎 裕

代表取締役社長 尾崎 裕